

ヨサコイの魅力

9月2日3日、新長浜市になって初めて開催されたあつぱれ祭り。今年、市内をはじめ、全国から過去最高の36チームが参加し、盛大に行われました。

旧浅井町で「ヨサコイ」スタイルのイベントが始まって今年で7年目。今では、様々なイベントで披露されるようになり、子どもから大人までたくさんの人が「ヨサコイ」を楽しんでいます。今回は、新しい地域の「文化」として広がりつつある「ヨサコイ」について、実際に活動されている4人の方にお話を聞きました。



左から 大橋 修さん(江州大舞隊・神照町)
野本 裕子さん(盟倫塾翠連・勝町)
押谷 彦士郎さん(AZAIまんてん・内保町)
松井 智津子さん(湖風ゆらり・早崎町)

。ヨサコイのどんな所に魅力がありますか。

押谷さん 私たち大人って、学生の頃のように私生活で夢中になるものが、なかなかないじゃないですか。ヨサコイには、仕事や家事をこなす日常生活にはない何かがあると思います。

大橋さん 踊ること、体を動かすことってだいたいの人が好きですよ。仲間と一緒に、いい汗をかくって、何かをめぐして頑張る・・・。ヨサコイの場合、めざすものは、仲間と最高の踊りを披露することですかね。今まで練習してきたことを出し切って、踊りきった時の達成感は何とも言えません。



踊り終わったときの達成感は最高！

野本さん そうですね。衣装を着て舞台上がると、なぜか別の自分

松井さん 大人も子どもも、男性も女性も関係ないですね。

押谷さん 私のチームでは、3歳から還暦の方までいますが、世代を越えて一つのことを楽しむ。みんながヨサコイを通じて気軽に話ができます。そして知り合いを通じて新しい人が入り、どんどん輪が広がっていきます。

松井さん どんな人でも参加できるので、例えば、小さなお子さんがいる方でも、一緒に入って楽しまれています。



練習の合間、ふれあうひととき

大橋さん 私も娘と参加していますが、ヨサコイを通じて親子の会話が増えました。なかなか年頃になると接し方が難しくなりますが、共通の話題ができましたね。

野本さん 踊る楽しみは世代や男女を越えて多くの人が共感できる

